大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F122210106259	設置等組織名	食総合科学部（食品環境科学科、栄養科学科）
大学名	静岡県立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	静岡	事業計画名	静岡県立大学食総合科学部設置計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和7年度	１－① Ｒ７年度８月～~~12月~~ 3月、Ｒ８年度４月～３月、Ｒ９年度５月～10月 学部再編における調査１：新学部のイメージ、進学希望など、静岡県内外（特に隣接県）の高等学校を訪問、また生徒、教諭を対象としたアンケート調査を行う。(R8.3.24承認) １－② Ｒ７年度８月～~~12月~~ 3月、Ｒ９年度５月～10月 学部再編における調査２：新学部のイメージ、必要性、連携希望など、静岡県内関連企業等を対象としたアンケート調査を行う。(R8.3.24承認) １－③ Ｒ７年度９月～12月 学部再編における調査３：卒業生を対象としたアンケート調査を行う。 １－④ Ｒ７年度８月～Ｒ８年度３月 学部再編における調査４：企業側の人材ニーズの意見聴取や新学科におけるカリキュラム連携の依頼のための対面会議を複数回行う。(R8.3.24承認) １－⑤ Ｒ７年度12月～３月 学部再編における調査５：新学部設置に伴う必要条件（施設整備内容等）を検討する。 １－⑥ Ｒ７年度８月～Ｒ８年度３月 各コースに対応したカリキュラムの作成：カリキュラム案を作成する。また、他大学および企業に対して連携講義の実施を依頼する。 １－⑦ Ｒ７年度８月～Ｒ８年度３月各学科・コースのディプロマポリシーの作成：各学科および各コースの教育に対応したディプロマポリシーを作成する。 １－⑧ Ｒ７年度10月～Ｒ８年度３月 新学部等の設置に係る構想・計画の策定：各種調査結果をもとに、新学部等の設置に係る構想・計画を策定する。 １－⑨ Ｒ７年度８月～R9年度３月 事務職員・新規教員の採用：事務職員および新規講義担当者を公募し、採用する。 １－⑮ Ｒ７年度～Ｒ９年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認)	１－① Ｒ７年度８月～R7年度３月 新学部のイメージ、進学希望など、静岡県内外（特に隣接県）の高等学校を訪問、また生徒、教諭を対象としたアンケート調査を行った。 １－② Ｒ７年度８月～R7年度３月 新学部のイメージ、必要性、連携希望など、静岡県内関連企業等を対象としたアンケート調査を行った。 １－③ Ｒ７年度10月～R7年度12月 卒業生を対象としたアンケート調査を行った １－④ Ｒ７年度３月 企業側の人材ニーズの意見聴取や新学科におけるカリキュラム連携の依頼のための対面会議を複数回行った。 １－⑤ Ｒ７年度12月～R7年度３月 新学部設置に伴う必要条件（施設整備内容等）を検討した。 １－⑥ R7年度８月～R7年度３月 カリキュラム案を作成した。 １－⑦ R7年度８月～R7年度３月 各学科および各コースの教育に対応したディプロマポリシーを作成した。 １－⑧ R7年度10月～R7年度３月 各種調査結果をもとに、新学部等の設置に係る構想・計画を策定した。 １－⑨ Ｒ７年度８月～R9年度３月 新規採用の講義担当者等の専門性や実務・研究実績等の内容について検討した。 １－⑮ R7年度２月 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議へ出席した。	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	１－① Ｒ７年度８月～~~12月~~ 3月、Ｒ８年度４月～３月、Ｒ９年度５月～10月 学部再編における調査１：新学部のイメージ、進学希望など、静岡県内外（特に隣接県）の高等学校を訪問、また生徒、教諭を対象としたアンケート調査を行う。(R8.3.24承認) １－④ Ｒ７年度８月～Ｒ８年度３月 学部再編における調査４：企業側の人材ニーズの意見聴取や新学科におけるカリキュラム連携の依頼のための対面会議を複数回行う。(R8.3.24承認) １－⑥ Ｒ７年度８月～Ｒ８年度３月 各コースに対応したカリキュラムの作成：カリキュラム案を作成する。また、他大学および企業に対して連携講義の実施を依頼する。 １－⑦ Ｒ７年度８月～Ｒ８年度３月 各学科・コースのディプロマポリシーの作成：各学科および各コースの教育に対応したディプロマポリシーを作成する。 １－⑧ Ｒ７年度10月～Ｒ８年度３月 新学部等の設置に係る構想・計画の策定：各種調査結果をもとに、新学部等の設置に係る構想・計画を策定する。 １－⑨ Ｒ７年度８月～R9年度３月 事務職員・新規教員の採用：事務職員および新規講義担当者を公募し、採用する。 １－⑩ Ｒ８年度４月～Ｒ９年度３月 新学部等設置認可申請準備：新学部等設置認可申請のための書類作成等を行う。 １－⑮ Ｒ７年度～Ｒ９年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認)		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	１－① Ｒ７年度８月～~~12月~~ 3月、Ｒ８年度４月～３月、Ｒ９年度５月～10月 学部再編における調査１：新学部のイメージ、進学希望など、静岡県内外（特に隣接県）の高等学校を訪問、また生徒、教諭を対象としたアンケート調査を行う。(R8.3.24承認) １－② Ｒ７年度８月～~~12月~~ 3月、Ｒ９年度５月～10月 学部再編における調査２：新学部のイメージ、必要性、連携希望など、静岡県内関連企業等を対象としたアンケート調査を行う。(R8.3.24承認) １－⑨ Ｒ７年度８月～Ｒ９年度３月 事務職員・新規教員の採用：事務職員および新規講義担当者を公募し、採用する。 １－⑩ Ｒ８年度４月～Ｒ９年度３月 新学部等設置認可申請準備：新学部等設置認可申請のための書類作成等を行う。 １－⑪ Ｒ９年度４月～３月 広報（県内外の高等学校）：新学部等設置計画について県内外の高等学校等に広報する。 １－⑫ Ｒ９年度４月～３月 広報（入学者選抜）：新学部等設置後の入学者選抜について県内外の高等学校等に広報する。 １－⑬ Ｒ９年度４月～３月 広報（学部案内等の作成）：学部案内等を作成し印刷する。 １－⑭ Ｒ９年度４月～３月 広報（ホームページの作成）：新学部のHPを作成する。 １－⑮ Ｒ７年度～Ｒ９年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認) ２－① Ｒ９年度４月～３月 既存校舎（食品栄養科学部棟・食品栄養科学部２号棟・一般教育棟（他学部との共用部分を除く））の改修に関わる設計：本事業の遂行に必要な既存校舎の改修に関わる設計を行う。 ２－② Ｒ９年度４月～３月 屋上施設、温室効果ガス測定施設設置に関わる設計：太陽光発電装置、環境大気測定局舎を設置するための設計を行う。		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	２－③ R10年度４月～３月 既存校舎（食品栄養科学部棟・食品栄養科学部２号棟・一般教育棟（他学部との共用部分を除く））の改修：本事業の遂行に必要な既存校舎の改修を行う。 ２－④ R10年度４月～３月 屋上施設、温室効果ガス測定施設の設置：太陽光発電装置、環境大気測定局舎を設置する。 ２－⑤ R10年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認)		令和10年度自己評価：リストから選択してください。

令和11年度	３－① R11年度４月～３月 本事業の遂行に必要な教育・研究備品を整備する。 ３－② R11年度４月～R14年度３月 事務職員・講師の一時的補充：事務職員およびコースの教育に対応した非常勤講師を採用する。 ３－③ R11年度４月～R12年度３月 広報（県内外の高等学校への訪問）：新学部、各学科、各コースの教育目標、カリキュラム、入学者選抜、予想進路先等について県内外の高等学校を訪問し、説明する。 ３－④ R11年度４月～R12年度３月 広報（企業への訪問）：新学部、各学科、各コースの教育目標、カリキュラム、入学者選抜、予想進路先等について県内外の企業を訪問し、説明する。 ３－⑤ R11年度４月～R12年度３月 広報（連携大学への訪問）：新学部、各学科、各コースの教育目標、カリキュラム、入学者選抜、予想進路先等について連携大学を訪問し、説明する。 ３－⑥ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部案内の作成・郵送等）：学部案内等の作成および印刷し、県内外の高等学校に郵送する。 ３－⑦ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部HPの改訂）：新学部のHPを改訂し、県内外の高等学校に周知する。 ３－⑧ R11年度４月～R14年度３月 取組計画の点検評価・見直し：新学部等設置計画の進捗管理、点検評価、見直しを行う。 ３－⑩ R11年度～R14年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認)		令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度	３－② R11年度４月～R14年度３月 事務職員・講師の一時的補充：事務職員およびコースの教育に対応した非常勤講師を採用する。 ３－③ R11年度４月～R12年度３月 広報（県内外の高等学校への訪問）：新学部、各学科、各コースの教育目標、カリキュラム、入学者選抜、予想進路先等について県内外の高等学校を訪問し、説明する。 ３－④ R11年度４月～R12年度３月 広報（企業への訪問）：新学部、各学科、各コースの教育目標、カリキュラム、入学者選抜、予想進路先等について県内外の企業を訪問し、説明する。 ３－⑤ R11年度４月～R12年度３月 広報（連携大学への訪問）：新学部、各学科、各コースの教育目標、カリキュラム、入学者選抜、予想進路先等について連携大学を訪問し、説明する。 ３－⑥ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部案内の作成・郵送等）：学部案内等の作成および印刷し、県内外の高等学校に郵送する。 ３－⑦ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部HPの改訂）：新学部のHPを改訂し、県内外の高等学校に周知する。 ３－⑧ R11年度４月～R14年度３月 取組計画の点検評価・見直し：新学部等設置計画の進捗管理、点検評価、見直しを行う。 ３－⑩ R11年度～R14年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認)		令和12年度自己評価 リストから選択してください。
令和13年度	３－② R11年度４月～R14年度３月 事務職員・講師の一時的補充：事務職員およびコースの教育に対応した非常勤講師を採用する。 ３－⑥ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部案内の作成・郵送等）：学部案内等の作成および印刷し、県内外の高等学校に郵送する。 ３－⑦ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部HPの改訂）：新学部のHPを改訂し、県内外の高等学校に周知する。 ３－⑧ R11年度４月～R14年度３月 取組計画の点検評価・見直し：新学部等設置計画の進捗管理、点検評価、見直しを行う。 ３－⑩ R11年度～R14年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認)		令和13年度自己評価 リストから選択してください。
令和14年度	３－② R11年度４月～R14年度３月 事務職員・講師の一時的補充：事務職員およびコースの教育に対応した非常勤講師を採用する。 ３－⑥ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部案内の作成・郵送等）：学部案内等の作成および印刷し、県内外の高等学校に郵送する。 ３－⑦ R11年度４月～R14年度３月 広報（学部HPの改訂）：新学部のHPを改訂し、県内外の高等学校に周知する。 ３－⑧ R11年度４月～R14年度３月 取組計画の点検評価・見直し：新学部等設置計画の進捗管理、点検評価、見直しを行う。 ３－⑨ R14年度９月～３月 新学部に対するアンケート調査：企業などに対して旧学部に比べ社会ニーズに対する満足感、卒業生の就職可能性についてアンケート調査を行う。また、卒業生に対してカリキュラムの満足感、改善すべき点などについてのアンケート調査を行う。 ３－⑩ R11年度～R14年度（年１回） 大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議への出席(R8.3.24承認)		令和14年度自己評価 リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価 リストから選択してください。
令和16年度			令和16年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	R10年３月認可申請予定		
定員減又は 学部等の廃止	R10年４月 食品栄養科学部学生募集停止の報告予定 （在学生がいなくなることが確定した時、食品栄養科学部の廃止に係る届出予定）		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	静岡県立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。☐

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	静岡県立大学

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- □ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学部では、本大学以外の機関との教育連携として、①他大学との連携講義の実施、②企業・自治体の専門家、技術者と実務経験のある本学教員によるオムニバス講義の開講、③各機関の実験施設等での関連分野の体験型実験・実習（臨地実務実習）を基本体系とする。 a. 企業や自治体と連携した科目の整備実施 現在本学部で行っている企業インターンシップを継続実施するとともに、⑤（実務経験のある教員）で述べたように、以下に示す講義の設置に向けて取り組む。 •地域食ビジネス論 •地域食品製造論 b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施 現在学部で行っている静岡大学との連携講義を継続するとともに⑫（自大学以外との連携）で述べたように以下の講義・実習の開講に向けて準備する。また、単位互換制度を検討し、講義等を通しての学生交流、他大学学生への本学部の講義等を開講することで、連携を密にして、相乗的な学生への教育効果の促進・展開を目指す。フェーズ１において、連携先大学と協議し、実施方法、単位互換、学生交流等の方策を検討し、確立させる。（）内は連携相手として想定される大学。 •農業生産体験やフィールドワーク等（静岡大学） •JABEE認証された他のプログラム教育機関とICTによる共同講義（福井県立大学生物資源学部）	新学部について、令和７年度は地域企業・高校・自治体の有識者と食品栄養科学部及び大学事務局関係者で組織する学部機能強化検討会を３回開催し、申請時の「A：連携を通じた教育体制の整備と実施（a. 企業や自治体と連携した科目の整備実施、b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施）」に記載の方向性のとおり、より地域・企業との連携を重視した教育カリキュラム策定できるよう検討を深めている。 ・学部機能強化検討会参加者(学外のみ)所属先 （一社）静岡県商工会議所連合会,静岡県経済農業協同組合連合会,（一社）静岡缶詰協会,いであ（株）環境創造研究所,県立藤枝東高等学校,県立農林環境専門職大学,静岡県企画部,静岡県経済産業部 また、主に静岡県内の企業・高等学校に対して、新学部設置に関してのニーズ調査(アンケート調査)を実施した。なお、アンケート調査だけでは見えない部分もあるため、教員が現地訪問又はオンライン面談を行い、実態についても調査を行った。この結果については、カリキュラム作成に反映していく。なお、教員による現地訪問又はオンライン面談は令和８年度も引き続きアンケート調査の補完として実施する予定。 ・企業側 −アンケート調査　調査対象　食品栄養科学部・大学院卒業生の就職先（過去３年）及び教育研究に関連する静岡県内の企業1,277企業・事業所等　有効回答190企業・事業所等 −面談等による調査　調査対象　８社　東洋カプセル（株）,サッポロビール（株）,ダイトー水産（株）,（株）　鈴生,焼津水産化学工業（株）,江崎グリコ（株）,スズキ（株）,厚生労働省・健康・生活衛生局 健康課 栄養指導室 ・高等学校側 −アンケート調査　調査対象　　公立・私立含む146校　有効回答106校 −面談等による調査　調査対象　6校 県立清水南,県立掛川西,沼津市立沼津,県立静岡農業,県立下田,県立三島北	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- □ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
- ■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- □ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- □ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
ｂ女子学生の確保・維持に向けた取組 過去5年間の本学部入学者においては、女子学生が75～85%を占めている。施設設備（トイレ等の改修、生理用品の設置等）や、助教を含む女性教員の数（2割以上）など、女子学生が安心して学生生活を送ることができるよう配慮した環境を整えている。また不定期ではあるが、理系女子のキャリアを紹介する高校生向けセミナー（女子中高生の理系進路選択プログラム）も開催しており、女子学生の確保と維持に努めている。入学後の女性人材育成の面でも実績を上げており、本学部を卒業した女子学生の多くは、専門性を活かして食品会社等の理系企業に就職しているほか、大学院進学を経て研究者の道にも進んでいる。前述の企業等との連携教育により、さらなる人材育成の推進を図る。 「食」を柱とする学部として、今後も多くの女子学生の受験、入学が見込まれるが、新学部では学位の分野を家政関係から農学関係×工学関係および農学関係×保健衛生学関係へ転換することから、より理系志向が強く「食」を総合的にとらえ、諸課題に取り組む意欲がある女子学生を確保できると考える。将来的にマネジメント思考に優れた、組織のリーダーとなり得る女性人材を創出する。 ｃ地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施） 本学部では、大学の地域貢献の一環として、県内公立および私立高校を対象とした「高大連携出張講義」を20年以上、毎年実施している。過去5年間で、平均約30件／年が当学部教員を指名した依頼であり、各教員の専門分野に関する導入的な授業を高校の教室に出向いて行っている。同様の取組は静岡県主催でも実施されており、これにも多くの教員が登録・協力している。また、学科単位で高校生向けのサマースクールを開催し、研究室での実験・実習体験を可能としている。その他、私立中学生の１日職業体験、スーパーサイエンスハイスクール指定校への協力、県教育委員会から委託されるニュートンチャレンジ、イノベーションチャレンジへの協力等も、各教員が積極的に関わってきた。さらに、小学生を対象とした食育教室を、学内実習室を使用して15年間行った。また、同じく小学生を対象とした自由研究支援や食に関わる実験教室、環境にかかわる親子教室を継続的に行っている。以上のように、公立大学として、地域の初等中等教育段階の学校との交流の機会は極めて多く、今後も親しみやすい高等教育機関として地域のニーズに応じた連携を発展的に実施していく予定である。	新学部について、令和７年度は地域企業・高校・自治体の有識者と食品栄養科学部及び大学事務局関係者で組織する学部機能強化検討会を３回開催し、申請時の「B：多様な入学者の確保に向けた取組（ｂ女子学生の確保・維持に向けた取組、ｃ地域の初等中等教育段階の学校との連携）」に記載の方向性のとおり、多様な入学者の確保に向けた取組について下記の内容を検討している。なお、ｃ地域の初等中等教育段階の学校との連携に関しては、令和７年度も例年と同様に実施している。 ・学部機能強化検討会参加者(学外のみ)所属先 （一社）静岡県商工会議所連合会,静岡県経済農業協同組合連合会,（一社）静岡缶詰協会,いであ（株）環境創造研究所,県立藤枝東高等学校,県立農林環境専門職大学,静岡県企画部,静岡県経済産業部 ｂ女子学生の確保・維持に向けた取組 過去5年間の本学部入学者においては女子学生が75～85%を占めていることから、「食」を柱とする学部として、今後も多くの女子学生の受験、入学を見込んでいる。そのことを踏まえ、検討会では以下の取組を検討している。 ・女子学生が安心して学生生活を送ることができるよう、助教を含む女性教員の数（2割以上）の維持に加えて、施設設備（トイレ等の改修に伴いパウダールームの設置、生理用品の設置等）の実施について。 ・一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜の実施において、実践的で企業業務に近い実習や社会活動を実施している農業高校（女子学生比率55～60%程度）、水産高校（女子学生比率25～30%程度）、工業高校（女子学生比率10～13%程度）などの実業高校に対して特別推薦枠を設けることについて。 ｃ地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施） 令和７年度も、大学の地域貢献の一環として、県内公立および私立高校を対象とした「高大連携出張講義」を27回実施した。また、高校生を対象としたサマースクールを４回、小・中学生向けの県大ツアーを１回、小学生を対象としたキッズ・ラボ及び夏休み親子環境教室を各１回開催した、以上のように、公立大学として、地域の初等中等教育段階の学校との交流の機会は極めて多く、今後も親しみやすい高等教育機関として地域のニーズに応じた連携を発展的に実施していく予定である。 高大連携出張講義実施先：加藤学園暁秀,沼津学園桐陽（英数進学コース）,静岡雙葉学園静岡雙葉,常葉大学附属常葉,磐田東学園磐田東,県立焼津中央＜3回＞,県立三島北＜2回＞,県立清水東＜2回＞,県立清水西,県立科学技術,県立静岡城北,県立静岡東,県立静岡農業,県立磐田農業,県立浜松湖北(佐久間分校),県立浜名,県立富士宮西,県立富士宮北,県立田方農業,県立韮山,県立浜松湖南,県立富士東,沼津市立沼津	

大学名	静岡県立大学

１.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	70	70																	
		編入学定員	人	0	0																	
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	70	70																	
		入学者数	人	80	77																	
		女子学生数	人	61	62																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
		女子学生数	人	0	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	70	70																	
		入学者数(B)	人	80	77																	
		女子学生数	人	61	62																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.14	1.10																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	280	280																	
		編入学定員	人	0	0																	
		在籍者数(D)	人	332	326																	
		編入学者数	人	0	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.19	1.16																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	79	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	20																	
		授業科目の単位数	単位	125	114																	

大学名	静岡県立大学

本事業対象となる学部等の個数	5

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	新設学部学科等に連続する既存組織
学部学科名	食総合科学部　食品環境科学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	静岡県立大学

(2)

改組内容	新設学部学科等に連続する既存組織
学部学科名	食総合科学部　栄養科学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	静岡県立大学

(3)

改組内容	新設学部学科等に連続する既存組織
学部学科名	食品栄養科学部　食品生命科学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	25	25																	
		編入学定員	人	0	0																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	25	25																	
		入学者数	人	29	29																	
		女子学生数	人	22	20																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
		女子学生数	人	0	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	25	25																	
		入学者数(B)	人	29	29																	
		女子学生数	人	22	20																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.16	1.16																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	100	100																	
		編入学定員	人	0	0																	
		在籍者数(D)	人	121	119																	
		編入学者数	人	0	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.21	1.19																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	30	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	8	7																	
		授業科目の単位数	単位	37	35																	

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	静岡県立大学

(4)

改組内容	新設学部学科等に連続する既存組織
学部学科名	食品栄養科学部　栄養生命科学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	25	25																	
		編入学定員	人	0	0																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	25	25																	
		入学者数	人	27	27																	
		女子学生数	人	26	25																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
		女子学生数	人	0	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	25	25																	
		入学者数(B)	人	27	27																	
		女子学生数	人	26	25																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.08	1.08																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	100	100																	
		編入学定員	人	0	0																	
		在籍者数(D)	人	112	111																	
		編入学者数	人	0	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.12	1.11																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	28	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	10																	
		授業科目の単位数	単位	63	58																	

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	静岡県立大学

(5)

改組内容	新設学部学科等に連続する既存組織
学部学科名	食品栄養科学部　環境生命科学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	20	20																	
		編入学定員	人	0	0																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	20	20																	
		入学者数	人	24	21																	
		女子学生数	人	13	17																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
		女子学生数	人	0	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	20	20																	
		入学者数(B)	人	24	21																	
		女子学生数	人	13	17																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.20	1.05																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	80	80																	
		編入学定員	人	0	0																	
		在籍者数(D)	人	99	96																	
		編入学者数	人	0	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.24	1.20																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	21	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	5	3																	
		授業科目の単位数	単位	25	21																	

大学名	静岡県立大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	静岡県立大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	615	615																	
		入学者数	人	659	667																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	615	615																	
		入学者数(B)	人	659	667																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	1.08																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	2,670	2,670																	
		編入学定員	人	25	25																	
		在籍者数(D)	人	2,938	2,928																	
		編入学者数	人	0	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	1.10																	

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R1年度 申請-5年	R2年度 申請-4年	R3年度 申請-3年	R4年度 申請-2年	R5年度 申請-1年	R6年度 申請	R7年度 選定	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
外部資金獲得額	千円	946,598	1,023,269	1,092,465	893,362	946,087	904,883	966,703												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	971,985
本事業による助成金の額(F)	千円	917,500
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	994,923

特記事項